

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	東北大学インクストーンズ	
代表者名	平井千尋	
連絡先 TEL: 022-795-4948 FAX:		E-mail

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	サロン活動と自治体のイベントへの協力
事業の目的	<p>宮城県石巻市の復興公営住宅には様々な地域から移り住んでいる方が多くいらっしゃるため、文化や価値観の違いによりコミュニティ形成が上手くいかないという課題があります。それに加え、2020年度からの新型コロナウイルスの感染拡大により集会所での活動が難しくなってしまったことが住民の孤立に拍車をかけ、交流がより一層困難になってしまいました。</p> <p>こうした状況のなかで、学生という立場を活かして復興公営住宅を対象に傾聴を重視したサロン活動を行うことで、石巻市にある復興公営住宅のコミュニティ形成支援・地域復興に貢献することを目指しています。</p>
事業の具体的内容	<p>(1)サロン活動 ※参加者人数は来場者のみの人数、あとの()内は弊団体メンバーの人数</p> <p>○宮城県石巻市 門脇東復興公営住宅集会所 計3回 2022/6/19 14:00~16:00 参加者10人(12人) 2022/10/30 14:00~16:00 6人(8人) 2023/2/25 10:00~12:00 10人(5人)</p> <p>○宮城県石巻市 吉野町復興住宅集会所 計5回</p>

	<p>2022/4/24 10:00~12:00 参加者13人(6人) 同6/11 10:00~12:00 9人(7人) 同10/23 10:00~12:00 7人(7人) 同12/4 10:00~12:00 7人(10人) 2023/3/26 10:00~12:00 6人(8人)</p> <p>お住いの方とお話をしながら、工作や料理などといったサロン活動を企画・運営しました。当初の計画では門脇町で6回、吉野町で5回の活動を考えていましたが、豪雨、新型コロナの感染拡大により一部の活動を中止しました。</p> <p>(2)イベント協力 宮城県石巻市門脇東復興公営住宅にて計2回お手伝いを行ないました。町内会主催の行事だったため、全体の参加人数は概数となっております。 ※参加者人数は来場者のみの人数、あとの()内は弊団体メンバーの人数</p> <p>2022/10/2 11:00~14:00 芋煮会 約40人(3人) 2022/12/25 10:00~15:00 清掃、餅つき 約40人(8人)</p> <p>(3)手紙企画 昨年から継続して復興公営住宅での「手紙企画」を実施しました。住民の方と弊団体の大学生が文通をするというものです。</p>
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>(1)サロン活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地区会長の方と話し合いの上日程、企画の大枠を決める 2. 団体のメンバーで企画の詳細を決める 3. チラシ・ポスターを作成し地区会長の方に送付、住民の方に周知する 4. 当日にレンタカーで復興公営住宅を訪問し、集会所を貸していただいてサロン活動を行なう。 5. (3)手紙企画について、サロン活動の際に住民の方からお手紙を預かったり返信を渡したりする。 6. 活動後には地区会長の方と話し、次回の活動の候補日を教えていただく。
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>(1)サロン活動 多くの被災者が新たなコミュニティでの人間関係構築に悩みを持っている現状を解決するために活動し、コミュニティ形成のきっかけや住民の楽しみの一つとなる機会を提供できました。</p> <p>(2)イベント協力</p>

	<p>力仕事など、大学生の強みを活かしてお手伝いできたと考えています。イベントを訪れた若い年代の方とお年寄りの方の橋渡しの役割も果たすことができました。</p> <p>(3)手紙企画 対面の活動と合わせて実施することで住民の方とより深く交流することができました。また、新型コロナウイルスの流行、悪天候などによってサロン活動が中止になった時にも手紙企画を継続できたことで切れ目のない交流を実現できました。</p>
今後の展望など	<p>今後もサロン活動を中心として活動を続けていきたいです。規制緩和によって様々な企画が可能になると思うので、大学生ならではの発想を活かした企画を提案していきたいと思えます。2023年度にはサロン活動の回数を増やし、石巻地域とより深いつながりを築けるよう努力して参ります。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
福祉活動助成金	300,000	
公益信託仙台銀行まちづくり基金	100,000	
社会福祉法人 宮城県共同募金会	50,000	
合計	450,000	

■ 支出の部

費目	内容	予算額(円)	実支出額(円)
旅費交通費 ※活動によって車の台数、高速道路における出口が異なるため、差が生じています。	レンタカー代 (8人乗り1台:9,000円) (5人乗り1台:4,000円) 安心パック代 (1台:660円) ※活動地のコロナウイルス蔓延によるレンタカーキャンセル料(1回分)	316,000 (内40,000円は他機関助成金を使用)	138,809 (福祉活動助成金44,840円、仙台銀行まちづくり基金64,009円、宮城県共同募金会29,960円)

	高速道路料金	54,000	18,310 (福祉活動助成金7,180円、仙台銀行まちづくり基金10,360円、宮城県共同募金会770円)
	ガソリン代	50,000	33,753 (福祉活動助成金10,962円、仙台銀行まちづくり基金14,872円、宮城県共同募金会7,919円)
計		410,000	190,872
印刷製本費	印刷費 (チラシ印刷用)	5,000	17,750 (福祉活動助成金12,310円、仙台銀行まちづくり基金5,440円)
通信費	レターパック代	5,000	2,000 (福祉活動助成金2,000円)
消耗品費	工作等の材料費	50,000	10,230 (福祉活動助成金10,230円)
	食糧費	60,000	53,784 (福祉活動助成金53,784円)
	備品 (紙皿・紙コップ等)	30,000	1,813 (福祉活動助成金1,813円)
計		140,000	65,827
合計		570,000	276,449 (福祉活動助成金143,119円)

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

返金額 156,881円





